

三島市洪水ハザードマップを作成しました

近年これまでに経験したことのない豪雨災害が発生していることから、平成 27 年 5 月の水防法改正により、洪水の想定浸水区域について「想定し得る最大規模の豪雨」を前提とした区域に拡充されました。

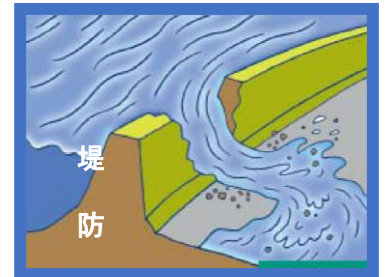
このことから、国土交通省及び静岡県が洪水予報河川・水位周知河川として指定している、狩野川・大場川・来光川の 3 河川について、洪水の想定浸水区域を新たに公表しました。

そこで三島市において、国及び県が公表した情報と、避難に必要な情報をあわせた洪水ハザードマップを新たに作成しました。

●洪水ハザードマップとは

以下の情報を市民の皆様にお伝えし、災害時に安全に避難していただくことを目的としています。

- ・大雨により浸水が予想される区域とその深さ
- ・避難に必要な情報



また本マップは、**想定し得る最大規模の降雨が発生し、堤防の決壊等の河川はん濫が起きた場合**を想定しています。

浸水しやすい場所や状況を日頃から把握していただき、避難経路の確認等を行い、事前の備えをお願いします。

●洪水ハザードマップの使い方

【地図面】

浸水深を示した地図、避難所、要配慮者利用施設、土砂災害警戒区域やアンダーパス等の危険箇所を記載しています。

【情報面】

おもに防災情報の入手方法や水害時の避難行動等を記載しています。

- ・ご自宅周辺の浸水深を確認しましょう。
- ・避難所や避難経路を選ぶときは、地図に記載されている危険箇所に注意しましょう。

※避難所までの経路でマップに記載されていない危険箇所(勾配のある道路や水路等)がないか、日ごろから確認しておきましょう。

ハザードマップ情報面
「防災メモ」を
ご活用ください

防災メモ

洪水ハザードマップを見て、危険箇所を注意しながら、自宅から避難所までの経路を書き込みましょう。

近くの避難所		いざというときの連絡先	
指定緊急避難場所	名称	名称	電話番号

ご自宅に浸水するリスクをチェックしましょう

- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 0.5m以上 3.0m未満
- 0.5m未満

わが家の危険度チェック!

- 土砂災害警戒区域
- 想定浸水区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域

ご自宅にどんな危険性があるかチェックしましょう

問い合わせ先
三島市 危機管理課
TEL 055-983-2650
土木課
TEL 055-983-2636

三島市では洪水ハザードマップと共に、避難ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを作成しています。併せて参考にしながら避難について備えましょう。

避難ハザードマップ
土砂災害ハザードマップ

● 浸水想定区域について

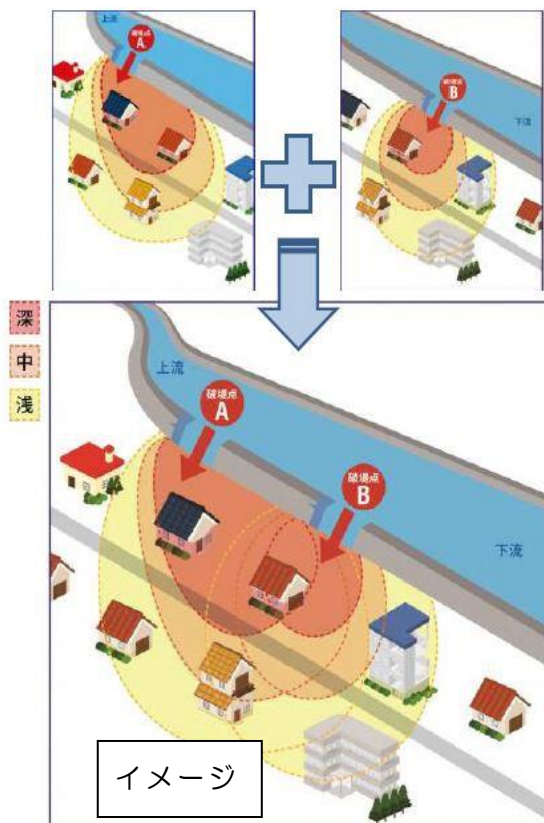
■ 水防法改正による降雨条件について

- ・ 想定し得る最大規模の豪雨

対象河川	想定最大規模 (48 時間総雨量)
狩野川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大仁地点より上流 828mm ・ 徳倉地点より上流 746mm ・ 黒瀬地点より上流 721mm
大場川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大場川流域 844mm
来光川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来光川流域 847mm

- ・ 地図面の右下図面

計画規模 (参考)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 狩野川流域 昭和 33 年 9 月洪水 (狩野川台風) 等 【参考】 狩野川台風総雨量 753mm (湯ヶ島)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大場川流域 昭和 49 年 7 月洪水
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来光川流域 平成 10 年 8 月洪水



■ 作成方法について

堤防の決壊等を想定した箇所は 1 箇所だけではなく、概ね 100~200m 間隔で各々を決壊させたシミュレーションを行っています。

このシミュレーション結果により想定し得る最大の浸水範囲を重ね合わせ、1 枚の図面にとりまとめました。



※前述の降雨条件をもとに、浸水の想定をしていますが、その降雨条件以外の場合に、浸水被害が発生しないということではありません。

お問い合わせ

- ・ 企画戦略部 危機管理課
電話 055-983-2650
FAX 055-981-7720
- ・ 都市基盤部 土木課
電話 055-983-2636
FAX 055-973-5722